

フレックスタッチ®とフレックスペン®の違い

監修：新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター センター長・教授 朝倉 俊成

フレックスペン®を使用される患者さんへ

フレックスタッチ®



フレックスペン®



ダイヤル表示の違い

フレックスタッチ®



フレックスペン®



フレックスタッチ®との違い

- 単位設定表示がフレックスペン®では黒地に白文字
- 単位増減時のダイヤル音、クリック感が同じ
- 空打ちの際の勢いが異なる

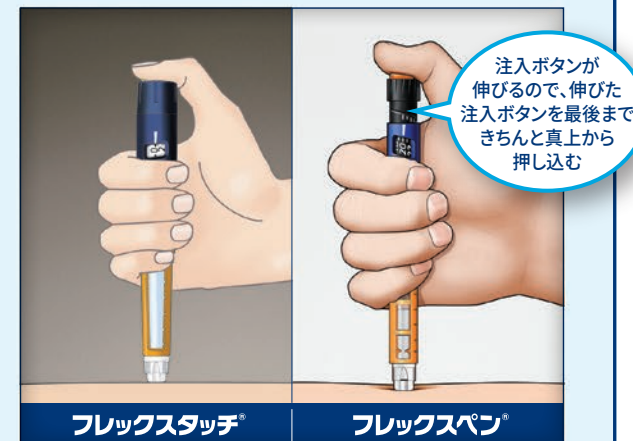
フレックスタッチ®



フレックスペン®



注入ボタンの違い



フレックスタッチ®との違い

- 注入ボタンが伸びる
- 注入圧が異なる
- 最大投与量がフレックスタッチ®では80単位、フレックスペン®では60単位
- フレックスタッチ®と比較して細いので、注入時は滑らないように本体をしっかりと握る
- カートリッジホルダーにろくさい 肋材がある

空打ちの際の薬液の出方



※詳細は裏面をご覧ください。

フレックスタッチ®からフレックスペン®へ変更する際の操作上の適正情報

フレックスタッチ®



原寸大

フレックスペン®



原寸大

フレックスペン®の説明のポイント

1. ダイアルを回したときに、注入ボタンが伸びる
2. 単位増減時のダイアル音・クリック感が同じ
3. 空打ちの際の勢いが、フレックスタッチ®と異なる
4. 注入ボタンを押したらダイアル表示が「0」に戻るまで押し込む

フレックスタッチ®とフレックスペン®の共通ポイント

- 基本的な使い方は同じです。
- 分解・再組立てをしないでください。
- 注射針は変わりません (JIS T 3226-2 A型)。
- 投与量設定は変わりません (1単位きざみ)。
- 空打ちは2単位です。
- 投与量を多く設定しすぎた場合は逆に回すだけです。
- 残量以上の投与量設定はできません。
- 注射後、6秒以上針を刺したままにしてください。
- 針を付けたまま放置しないでください。